

政策シート

(政策名) 一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進

(予算費目名) ユニバーサル社会・男女共同参画推進費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務です。そこで、それらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組みを一層推進します。企業には、ワーク・ライフ・バランスの重要性を認識し、自主的な取組みを行うための環境づくりの支援をします。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	42,960	40,557
決算	40,057	
人件費(A)	26,600	27,860
報酬(B)	128	255
年間経費(予算又は決算+A+B)	66,785	68,672

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
男女共同参画社会実現に向けた市の取り組みに対する満足度	%	25	目標	15	15
			実績	14.9	
活動拠点施設で開催された講座の満足度	%	85	目標	80	85
			実績	96	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

持続可能な経済成長を達成しながら、社会の活力を維持していくためには、すべての人が性別に関わりなく個人として尊重され、自らの意思によりその個性と能力を十分に発揮することが不可欠であり、とりわけ女性が活躍できる環境づくりが急務です。そこで、それらを阻害する根底にある「固定的性別役割分担意識」の解消に向け、市民や市民団体等と連携した取組みを一層推進します。企業には、ワーク・ライフ・バランスの重要性を認識し、自主的な取組みを行うための環境づくりの支援をします。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

・こらぼ講座(51回／計画値40回、5,599人／計画値4,500人)を実施したり、男女共同参画重点施策事業として、3つの事業をそれぞれ3団体に委託した。
 ・「はままつ働く女性応援ネットワーク」で、市内14の事業所から23名が参加、ワークショップや講義を中心としたネットワーク会議を計4回実施した。
 ・女性のキャリアアップ、ネットワークづくりを目的としたシンポジウム(参加者126名)や、「はままつ女性カレッジ」(受講者11名)を実施した。
 以上の取組を行ったが、概ね計画どおりに実施できた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	男女共同参画推進事業	○	○	○		23,261	7,046	1.8			1.2	255
2	(新規)女性活躍支援事業		○	○		10,180	3,880	0.9				
3	DV防止支援事業					8,123	6,023	0.3				
4	活動拠点施設事業					27,108	23,608	0.5				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						68,672	40,557	3.5			1.2	255

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇事業目的・事業対象

固定的な役割分担意識を解消し、男女が互いに人権を尊重し、社会の対等な構成員として施策・方針などの意思決定の場に等しく参画し、生き生きと暮らせるよう意識啓発や人材の育成に向けた事業を展開する。

◇事業の概要

- ・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案により実施する「男女共同参画パートナーシップ委託事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。
- ・男女共同参画の意識づくり推進のため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行する。
- ・職員(男女共同参画推進リーダー、新任監督者など)や子どもたちの教育・保育に携わる教職員に対し、意識啓発を図るための研修会を実施する。
- ・国の男女共同参画週間に呼応して、駅前での街頭広報、本庁舎1階ロビーで啓発パネル展示を実施する。
- ・平成30年度からの次期計画策定の参考資料とするため、「男女共同参画に関する市民意識・実態調査を実施する。
- ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所表彰制度を創設、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める。
- 【重点戦略項目 No124】
- ・男女がともに働きやすい環境を整備するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和63年度	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	4,951	7,046
	決算	3,908	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	3,908	7,046
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)		128	255
人件費(千円)		14,700	15,960
人工	正規	1.7	1.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	1.0	1.2

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
こらぼ講座年間実施数(回)				-	-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	40	40			50
実績値	51				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣件数(件)				-	124
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5	5	7	7	10
実績値	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
男女共同参画社会実現に向けた市の取組みに対する満足度(%)					-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	15			25
実績値	14.9				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ワーク・ライフ・バランスなど推進事業所認証事業所(社/年)				I-2(2)ア	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	0(準備)	10		10	
実績値	0(準備)				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・市民が開催する学習会へ男女共同参画アドバイザーを派遣する「こらぼ講座」や、市民団体からの企画提案により実施する「男女共同参画パートナーシップ委託事業」など、市民に向けた意識啓発事業を実施する。

・男女共同参画の意識づくり推進のため、市民向け情報誌「ハーモニー」を発行する。

・職員（男女共同参画推進リーダー、新任監督者など）や子供たちの教育・保育に携わる教職員に対し、意識啓発を図るための研修会を実施する。

・国の男女共同参画週間に呼応して、駅前での街頭広報、本庁舎1階ロビーで啓発パネル展示を実施する。

・附属機関を所管する各課からの女性委員を選任する際の情報提供資料として、「女性人材リスト」を管理・更新する。

【重点戦略項目 No124】

・男女がともに働きやすい環境を整備するため、企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・平成27年度の市民アンケート調査では、市民満足度(男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み)は、前年と比較し1.9ポイント増加した。

・こらぼ講座(51回／計画値40回、5,599人／計画値4,500人)を実施したり、男女共同参画重点施策事業として、3つの事業をそれぞれ3団体に委託した。また、市民団体からの企画提案により実施する「男女共同参画パートナーシップ委託事業」を2事業採択、2団体に委託し、市民に向けた意識啓発等の事業を実施した。

・男女共同参画重点施策事業の1事業として、男女共同参画ハンドブックの原稿作成を委託し、その原稿をもとにハンドブックを5,000部発行、公共施設や関係機関への配架を依頼した。また今後、このハンドブックを活用することで、特に若年層への意識啓発に努めていく。

・誰もが働きやすい職場環境をつくるために、3企業にワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣し、改善を支援した。

・「第1期はままつ女性カレッジ」卒業生に編集を依頼し、情報誌「ハーモニー」を発行し、男女共同参画の意識づくりを推進した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 一部委託 事業費 現状 人工 現状

今年度は、従来の主要事業は継続としながらも、女性カレッジ卒業生への情報誌「ハーモニー」の編集依頼や、NPO法人への男女共同参画ハンドブックの原稿作成委託など市民やNPO団体との連携により、事業の質の向上を高めることができた。よって引き続き継続して、人材育成や団体育成も含めて、民間活力の向上に努めていくことが必要と考える。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 一部委託 事業費 現状 人工 現状

今年度の市民やNPO団体との連携がある程度の成功を収めたことにより、今後についても、民間活力によりサービスの向上及びコスト削減に努めていきたい。そのためには、人材育成はもとより高い水準での協働が実現できるよう団体育成などにも力を入れていきたい。また、企業に向けたワーク・ライフ・バランス推進にかかる啓発事業を実施していく。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 普及・啓発

補助シート (事業名) 男女共同参画推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
124	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所表彰制度を創設、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所表彰制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める	・ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを企業へ派遣をして、男女がともに働きやすい職場環境を推進する。 ・ワーク・ライフ・バランス等推進事業所表彰制度により、事業所におけるワーク・ライフ・バランス等の好事例を地域に広める
〇〇				

事業シート (事業名) (新規)女性活躍支援事業

◇事業目的・事業対象

企業で働く女性、地域への貢献を考える女性、起業を目指す女性に対し、きっかけづくりや情報・ノウハウの提供などを目的とした講座・シンポジウム等を開催することで、職場や地域で活躍する女性を支援する。

◇事業の概要

- ・働く女性の連携を支援するため、「はままつ働く女性活躍応援ネットワーク」の活動報告や参加企業の紹介などをHPから情報発信する。
 - ・これから結婚、出産を控える主に20代～30代の働く女性を対象に、キャリアアップ及び就労継続を支援するための全6回の講座を開催する。
 - ・女子学生を対象として、「働く先輩女性社員に聞く！就活前のプチサロン」を開催し、働くことへの意識を高める場を提供する。
 - ・起業を考えている女性のための、「女性起業家育成講座」を実施する。
- 【重点戦略項目 No123】
- ・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目指し、「はままつ女性カレッジ」を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成27年度	-	一般会計	自治事務(その他)	女性活躍推進法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	4,036	3,880
	決算	2,431	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	2,431	3,880
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		6,300	6,300
人工	正規	0.9	0.9
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
はままつ女性カレッジの総参加者累計(人)				-	123
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	12	24	48		120
実績値	11				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
はままつ働く女性応援ネットワークの参加者数(人)					-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	25	25			100
実績値	23				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
女性起業家育成講座の修了者数(人)					-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	15			15
実績値	17				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)

07 02 04 01 00615000

(担当課)

ユニバーサル社会・男女共同参画推進課

(責任者)

鈴木 江利子

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・働く女性の連携を支援するため、「はままつ働く女性活躍応援ネットワーク」の活動報告や参加企業の紹介などをHPから情報発信する。

・働く女性のキャリアアップ、ネットワークづくりの支援を目的とした、「はままつ働く女性活躍応援シンポジウム」を開催する。

・女子学生を対象として、「働く先輩女性社員に聞く！就活前のプチサロン」を開催し、働くことへの意識を高める場を提供する。

・起業を考えている女性のための、「女性起業家育成講座」を実施する。

【重点戦略項目 No123】

・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目指し、「はままつ女性カレッジ」を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・「はままつ働く女性応援ネットワーク」で、市内14の事業所から23名が参加、ワークショップや講義を中心としたネットワーク会議を計4回実施した。また、企業のHP作成では大学生の視点で応援ネットワークから4社の紹介をした。

・「はままつ働く女性活躍応援シンポジウム」を、平成27年11月7日に開催し、働く女性のキャリアアップ、ネットワークづくりを目的にした基調講演(小室淑恵氏)、パネルディスカッション、交流会を行い、126人が参加した。

・女子学生を対象とした「働く先輩女性社員に聞く！就活前のプチサロン」を開催、9名の女子学生が参加、交流会では「働く女性応援ネットワーク」のメンバー13名の協力を得た。

・「はままつ女性カレッジ」を開催し、11名が受講した。

・起業を考えている女性を支援するため、女性起業支援シンポジウム・交流会を開催、60人が参加した。また同じく全6回シリーズの女性起業家育成講座を開催、17名が受講した(委託事業)。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善

小項目 直接実施

/ 一部委託

事業費

拡大

人工

拡大

昨年度より国の成長戦略の一つとして「女性の活躍促進」が掲げられたことにより、今年度、予算項目の事業を男女共同参画推進事業より独立させ、事業の拡充を図った。事業としては、当初の計画どおり実施することができたが、個々の事業で集客に難があったものもあり、成果としては今一つのものもある。集客に難があったものについては、次年度以降、開催場所や開催時期等の見直し・再調整が必要である。

今後の方向性

大項目 改善

小項目 直接実施

/ 一部委託

事業費

拡大

人工

拡大

昨年「女性活躍推進法」が成立し、今まで以上に推進を図っていくことが求められている。「女性の活躍支援」のためには、女性の意識向上のみならず、企業経営者及び職場の理解やサポートが必要であることから、今後の方向性としては、特に企業への「女性の活躍推進」を求める事業を実施する必要がある。よって、女性対象の事業以外にも企業経営者・人事担当対象の事業を模索していく。

・事業の分類

大分類

事業推進

細分類

市民活動

補助シート (事業名) (新規)女性活躍支援事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
123	・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。 ・前年度のカレッジ修了生には、情報誌の編集等を通じ、男女共同参画の推進に協力してもらう。	・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。	・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。	・将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした「はままつ女性カレッジ」を開催する。
〇〇				

事業シート (事業名) DV防止支援事業

◇事業目的・事業対象

男女がお互いに個人としての人権を尊重し、生き生きと暮らせるよう、配偶者やパートナーなど親密な関係で起こる暴力の防止に向けた啓発や被害者の相談支援体制の整備に向けた事業を展開する。

◇事業の概要

①DV防止・支援基本計画に基づく、防止啓発の推進

- ・DV被害の潜在化を防止するため、DV防止週間以外にも啓発リーフレットを活用した防止啓発活動を行う。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、広報カード配布による周知を図る。
- ・一般市民向けにDV防止を啓発するための講演会を開催する。

②DV相談支援センターの一機能としてDV専用ダイヤルによる初期相談の実施

- ・DV被害の潜在化、重篤化を防ぐため、相談先を明確にして、相談しやすい窓口であることをPRし、相談状況に応じて次のステップにつなげる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成25年度	-	一般会計	自治事務(その他)	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	10,365	6,023
	決算	10,230	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	10,230	6,023
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
DV相談専用ダイヤルの相談件数(件)				-	-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	400	450			500
実績値	639				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
07 02 04 01 00615000(担当課)
ユニバーサル社会・男女共同参画推進課(責任者)
鈴木 江利子(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①DV防止・支援基本計画に基づく、防止啓発の推進

- ・DV被害の潜在化を防止するため、DV防止週間以外にも啓発リーフレットを活用した防止啓発活動を行う。
- ・DV防止を啓発するための講演会を開催する。
- ・DV相談専用ダイヤルをPRするため、広報カード配布による周知を図る。

②DV相談支援センターの一機能としてDV専用ダイヤルによる初期相談の実施

- ・DV被害の潜在化、重篤化を防ぐため、相談先を明確にして、相談しやすい窓口であることをPRし、相談状況に応じて次のステップにつなげる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・女性に対する暴力をなくす運動期間中に意識啓発事業として、市役所本庁舎1階ロビーにてパネル展示(11/12～11/25)やJR浜松駅前街頭広報(11/13)を実施した。
- ・一般市民を対象に、平成27年11月20日にDVを防止するための講演会をあいホールにて開催、45人が聴講した。
- ・男女間の暴力根絶のため、DV相談支援センターの機能の一部を担う電話相談を業務委託にて継続実施した。今年度の相談件数は、639件であった。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

専用ダイヤル設置の目的が、相談の第一歩として相談者から相談しやすい状況を整えるためのものである。そのなかでDVに関する相談に対して、「これはDV?」というDVの初期相談的なものが結構な件数を占める点では、当初の目的を果たしていると考えられる。しかし、依然として「DV相談専用ダイヤル」と謳っているにもかかわらず、DVに関する相談ではないリピーターによる相談がかなりの件数を占めていることもあり、この対応をどうするかが課題である。また、相談件数についても必ずしも2人体制でなければいけない程の件数ではないことも、見直しの事案である。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

専用ダイヤルは、配暴法に基づくもので、ダイヤル開設後2年余を経過するなか事業の検証から、平成28年度より、相談体制を2人から1人とした。今後2年間で相談件数の推移等の統計データを精査しながら、平成30年度以降の相談体制の検討を行う。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 活動拠点施設事業

◇事業目的・事業対象

女性のエンパワーメントを支援する活動及び男女共同参画を推進する市民活動団体等の活動拠点としての機能を充実することにより、男女共同参画の推進を図る。

◇事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点として、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成を委託して行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和62年度	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市男女共同参画推進条例、浜松市男女共同参画・文	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	23,608	23,608
	決算	23,488	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	23,488	23,608
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
啓発事業参加者数(人)					-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,300	1800			
実績値	3464				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
相談件数(件)					-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,300	1300			
実績値	1348				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
講座の満足度(%)					-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	80	85			
実績値	96				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
07 02 04 01 00615000(担当課)
ユニバーサル社会・男女共同参画推進課(責任者)
鈴木 江利子(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画を推進する活動拠点として、各種講座、相談業務、情報発信、団体育成を委託して行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○あいホールにおける、男女共同参画推進事業の実施

男女共同参画推進のための活動拠点施設として、男女共同参画の意識啓発や人材育成に成果をあげた。

・啓発事業参加者 3,464人 ※防災出前講座 和合自治会800人、デートDV出前講座 浜松啓陽高校全校生徒510人を含む。

・参加者満足度 96% ※講座終了後アンケートより

○相談事業

相談件数 1,508件

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 委託・指定管理 / 事業費 現状 人工 現状

新あいホールになって3年目、啓発事業の参加者が大幅に増加したことについて、事業運営とそれに伴う施設活用等が軌道に乗ってきたことによると考えられる。また前年度の講座等のアンケートなどから効果を検証・見直すなかで、より実践的で市民ニーズを反映した効果的な事業を行った。しかし団体育成事業については「あいゆうネット」の参加団体が伸びないことなどから、この事業を推進できるよう促していきたい。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 事業費 現状 人工 現状

あいホールをさまざまな市民に利用していただくことで、男女共同参画についての気づきを促しながら、引き続き意識啓発に努めていくとともに、市民ニーズを反映した効果的な事業を実施していきたい。また、平成29年度は新たに契約を行うことから、しっかりと事業を検証しながら契約準備を進めていきたい。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(建物)